

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成21年1月29日(2009.1.29)

【公表番号】特表2008-523267(P2008-523267A)

【公表日】平成20年7月3日(2008.7.3)

【年通号数】公開・登録公報2008-026

【出願番号】特願2007-546715(P2007-546715)

【国際特許分類】

D 0 4 H 1/42 (2006.01)

B 0 1 D 46/00 (2006.01)

F 0 1 N 3/02 (2006.01)

C 0 8 K 3/04 (2006.01)

C 0 8 K 3/34 (2006.01)

C 0 8 K 7/10 (2006.01)

C 0 8 L 33/04 (2006.01)

F 0 1 N 3/28 (2006.01)

【F I】

D 0 4 H 1/42 A

B 0 1 D 46/00 C

F 0 1 N 3/02 3 0 1 B

C 0 8 K 3/04

C 0 8 K 3/34

C 0 8 K 7/10

C 0 8 L 33/04

F 0 1 N 3/28 3 1 1 N

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月28日(2008.11.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

取付け用マットであって：

(a) 生体溶解性繊維、

(b) 繊維の全重量を基準にして約67wt%(pbw)を超えるシリカ含量を有しかつ少なくとも約5分間の加熱処理時間少なくとも約400℃の加熱処理温度にシリカ繊維を暴露することを含む加熱処理が施されている耐久性の加熱処理されたシリカ繊維、および

(c) 膨張性材料、

を含み、マットの全乾燥重量を基準にして、約5wt%未満のマイカ系バインダー材料を含む取付け用マット。

【請求項2】

前記マットが、マットの全乾燥重量を基準にして：

(a) 約16～約80wt%の生体溶解性繊維、

(b) 約4～約80wt%の加熱処理したシリカ繊維、および

(c) 約10～約80wt%の膨張性材料

を含む、請求項 1 に記載のマット。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 記載のマットを含む汚染制御装置であって、前記マットがハウジングと、前記ハウジングの内部に位置する汚染制御要素との間に位置しており、前記汚染制御要素が触媒コンバーターまたはフィルター要素を含む汚染制御装置。